

平成28年度の活動記録(4月)

第1回(4月4日)

◎皆勤、精勤者のお祝い

参加者数
対象者：23名
協力員：17名



●平成27年度の皆勤者と精勤者への表彰式を行いました。
皆勤者(出席24回)
浦野泰恵・木村和江・鈴木富美子・長嶋則子・松下ふゆ(敬称略)
精勤者(出席23回)
小田敏江・藤沢きん・此本律子・萩原よし(敬称略)
皆さんおめでとう御座います。
●皆勤賞 精勤賞をもらった方達は本当に普段の生活リズム作りと健康管理が素晴らしいと思います。
●今年度は全員が皆勤賞や精勤賞を取れると良いですね。



皆勤賞おめでとうございます

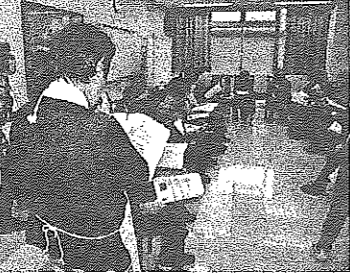
副賞のお披露目で〜す→



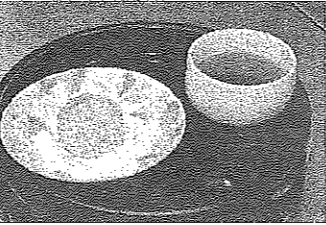
朝一米体操
“米”という
文字を体で書
く体操です。



歌の練習は「春特集」
「春が来た」「さくらさくら」
「花」・・・など。
♪春が来た 春が来た
どこに来た。山に来た 里
に来た 野にも来た。



◎本日のおやつ



お饅頭

第2回(4月18日) ◎手話で「手と頭の体操」を

- 前回の手話は去年の11月30日でしたので、ほぼ5ヶ月ぶりの手話教室でした。
- 今回は唱歌「富士の山」を練習しました。
- 他にも前回習った「赤鼻のトナカイ」や簡単な挨拶の復習を試みました。
- 体と頭の健康のために、手話を勉強して使えるようになれば自分やお友達のものものに役立ちます。
皆さんだってこれからボランティアが出来るかもしれません。



参加者数
対象者：19名
協力員：15名
手話サークル
「わすれなぐさ」：3名

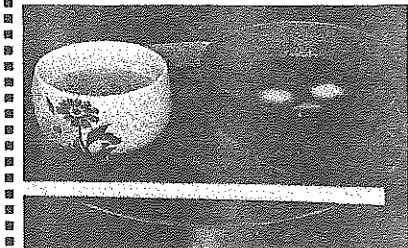


♪あ〜たまをくもおの〜うらえ
にいだあし〜.....

「コンニチは、私の名前は、
〇〇です、どうぞよろしく」

♪真っ赤なお鼻のトナカイさんは〜.....

◎本日のおやつ



おしるこ



げんき



母の日

いきいき歳時記・5月

●今年度は5月8日でした
日本では、5月の第二日曜日を母の日としています(国によって日程が異なります)。母親に感謝する日としてカーネーションや贈り物を送ることが多いですね。

●始まりは・・・
起源としては諸説がありますが、現在のような日本の母の日の由来はアメリカの説からきたものと考えられます。1905年5月9日、アメリカバージニア州に住むアンナ・ジャービスという人が「平和主義の社会活動家であった亡き母を追悼したい」という思いから、1908年5月10日、フィラデルフィアの教会で白いカーネーションを配りました。この風習がアメリカのほとんどの州に広まり、1914年その時のアメリカ大統領だったウィルソンが5月の第二日曜日を母の日と制定しました。

●日本では・・・
日本で初めての母の日を祝う行事が行われたのは明治の末期頃で、1915年(大正4年)に教会で祝われ始め、徐々に一般に広まっていきました。昭和に入ると1931年(昭和6年)に、大日本連合婦人会を結成したのを機に、皇后(香淳皇后)の誕生日である3月6日(地久節)を「母の日」としましたが、1937年(昭和12年)5月8日に、第1回「森永母の日大会」(森永母を讃へる会主催、母の日中央委員会協賛)が豊島園で開催された後、1949年(昭和24年)ごろからアメリカに倣って5月の第2日曜日に行われるようになりました。「母の日」礼拝としては1913年に青山学院で行われています。アンナ・ジャービスから青山学院にメッセージが届き、当時青山学院にいた女性宣教師たちの熱心な働きかけで、日本で「母の日」が定着していくきっかけとなりました。



—母ありてこそ われあり—
ボクはおふくろがすきでした

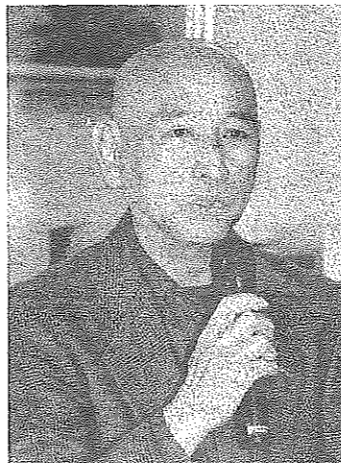
サトウハチロー



～男の子の立身出世と健康を願う 端午の節句～



福岡区長 北川幸克



5月5日は子供の日ですね。「端午の節句」「菖蒲の節句」とも言われます。強い香気でおまを祓う菖蒲や蓬を軒につるしたり菖蒲湯に入ること無病息災を願いました。また、「菖蒲」を「尚武(しょうぶ)」という言葉にかけて、勇ましい飾りをして男の子の誕生と成長を祝う「尚武の節句」でもあります。

相良ではこの時期に古くから凧合戦が行われてきましたね。凧合戦では上町、下町(相・福)が赤・白に分かれて競い合ってきましたが、サロンでは仲良く手を取り合っていますね。

これからも相良と福岡は 時には切磋琢磨する良きライバルとして、時には助け合う良き仲間として、共に地域を盛り上げていきましょう。



なつかし記・さから 子供たちのいる風景



梅干の竹皮包み?

竹の皮に梅やシソを入れて包んだものを吸う。これの名前が何か知っていらっしゃいますか? あるお年よりから聞いた話で、子供のころによくお菓子というか、おやつに食べていたらしいのですが、その方も名前がわからないらしく...

名前を知っている、食べたことある方、お教え願います。

澤田氏の画をみているだけで口の中がスッパクなってきました。

画 澤田 翰 (たかし) 氏

皆様のご意見や思い出話をお待ちしております

相良今昔物語 澤田 翰 (たかし)

(先月号からの続き)

裁判小路のつき当たりの元相中体育館の前に登記所があり、その大松の横に印紙を売る店と、紅林亶さんの事務所がありました。山村医院の前住が星野医院で、絵の上手な坊ちゃんは今どこに在るのやら……。寺尾さん住宅の場所は、町議の河合さんの「魚信」さんの元の店。寺尾さんの店も大和丁に永く営業していて、時あたかも力道山のプロレスの人気時代で、テレビの前に黒山の人ばかり。道路は交通止め、工営所の塀は壊れるわの、まだまだテレビが庶民には高嶺の花の時代でした。

「大栄館」は丸々太ったほてい様の様な爺さんが、弓の練習に巻藪を的に、太鼓腹を出している姿を思い出します。うなぎや料理が美味しく、二階の大座敷での宴会がハネルと、向かいの岡本楼に裏口からスツと登れる便利な所で、裏には当地方では珍しい洋食の店を造り、流行の先端を行く豊吉さんの腕は評判でした。現代の寿しの大栄館も大繁盛で結構です。旧家屋に「カプトビール」の大鏡がありました。

(原文のまま、以下次号へ続く)



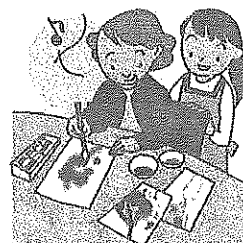
加武登麦酒 (カプトビール)

かつて丸三麦酒によって半田赤レンガ建物 (旧カプトビール工場:愛知県半田市) で1898年 (明治31年) から1943年 (昭和18年) までビールが製造されていました。

その名は、ビールなどを喉で勢い良く飲むことを「かぶる」ということから、それが訛って「カプト」になったとも、日清戦争後であることから勇ましい兜の商標を用いたともいわれ、諸説あるようです。

これからの いきいき予定

- 5月30日: 健康講座
- 6月 6日: 相良保育園児との交流会
- 6月20日: ゲームを楽しもう



相・福 いきいきだより
笑顔がいっぱい!!
2016年5月9日号
(通算第26号)
発行
相良・福岡いきいきクラブ
編集
いきいきボランティア協力員